

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科(R7開設)

設置の趣旨 ・必要性

- 現代社会の複雑な社会現象を分析し、実社会で意思決定を行うためには、**社会に対する深い理解**と**データサイエンスの高度なスキル**を共に有し、それらを**融合**させ、課題設定・解決を行うことができる人材が必要
- 本学が新設する博士後期課程では、**社会科学**と**データサイエンス**の**融合**によって生じた**ソーシャル・データサイエンス(SDS)**の研究フロンティアを開拓し、最先端の研究成果を社会実装できる、「**ソーシャル・データサイエンス(SDS)**分野における研究開発人材」を養成

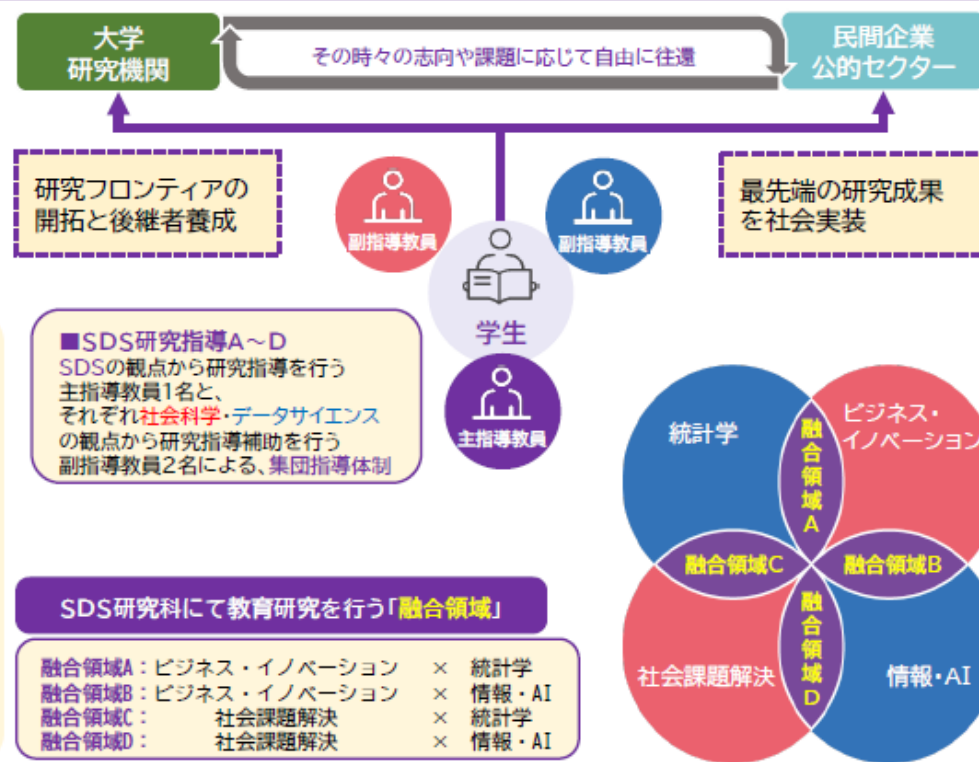
ソーシャル・データサイエンス研究科博士後期課程の設置(入学定員:7名、専任教員:18名)

養成する人材像

- 「SDS分野における研究開発人材」
 - ・大学や研究機関において最先端の研究・教育を牽引
 - ・民間企業や公的セクターにおいて最先端の知見を創出
- 学生が修得すべき能力・資質
 - ・SDSの研究フロンティアを開拓する研究遂行力
 - ・SDSの最先端の研究成果を**社会実装**できる**実行力**

教育課程の特色

- 学術研究の作法を身につける1年次
 - ・SDS研究方法論Ⅰ 責任ある科学技術イノベーション
 - ・SDS研究方法論Ⅱ 研究開発マネジメント論
 - ・SDSアドバンスト・リサーチワークショップⅠ・Ⅱ
→適切な課題設定・解決方法と、最先端の知識の修得
- 現実の課題解決の場で研究開発を実践する2年次
 - ・SDS共同プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ
→ビジネス・イノベーションや社会課題解決を行う
現実社会の研究プロジェクトに参加
- 博士論文を執筆する3年次
 - ・SDS研究指導A～D
→複数教員による**融合領域**別の研究指導(3年間)



全学的な学内資源の再配分とガバナンス改革

- 大学院の入学定員再編(R7年4月)
 - 経営管理研究科 修士課程 6名、
 - 言語社会研究科 修士課程 △3名、経営管理研究科 博士後期課程 △5名、
 - 法学研究科 博士後期課程 △2名、社会学研究科 博士後期課程 △2名

- 学長が委員長を務める全学人事委員会で、理想の年代・ジェンダー構成と国際化に向けた全学人事ロードマップを策定(R4年度)
- 専任教員のすべての採用案件を全学人事委員会に諮ることで、全学人事ロードマップの進捗状況を厳しく管理